



市川大楽園  
 特別栽培茶  
 大楽園  
 市川大楽園製茶  
 特別栽培茶  
 大楽園  
 市川大楽園製茶

市川大楽園製茶  
 http://oishiocha.com

当店の屋号を、名付けた高級煎茶です。  
 火入れなど茶師の経験や技でより味や  
 香りを引き立たせています。

土にこだわり香りとコクが  
 たっぷりのお茶です。

贈り物におすすめです。

お渡し予定日 5月20日

手もみ茶の技術を生かした  
 おいしいお茶をつくります。

**新茶 大楽園**  
 100 g 1,000 円

※お茶選びと加工に時間をかけるため  
 お渡し予定日が遅めとなります。



荒茶と呼ばれるお茶です。その年一  
 番のお茶を選び、製茶工場できたて  
 出荷！旬の色と香りを共に楽しめる  
 この時期ならではの茶です。

**季節限定商品**

お渡し予定日5月16日

**つみたて生新茶 特上**

100 g 750 円  
 200 g 1,500 円



荒茶と呼ばれるお茶です。加工  
 をせず製茶工場からできたて  
 出荷！大きく伸びて味の、のっ  
 たお茶を選びます。

**季節限定商品**

お渡し予定日5月22日

**つみたて生新茶 上**

100 g 500 円  
 200 g 1,000 円

店主 市川泰三  
 いちかわたいざう  
 日本茶  
 インストラクター  
 リーダー  
 手もみ茶 師範  
 紅茶アドバイザー  
 なし多方面で活動中

特別栽培農産物の認証取得  
 化学肥料・化学合成農薬の使用回数を  
 慣行レベルの5割削減しました。

「みえの安心食材」の認定も継続中  
 化学農薬の使用回数を  
 一般栽培レベルの4割以上削減しています。



ご注文は TEL 0595-85-0321 FAX 0595-85-3005  
 〒519-0221 三重県亀山市辺法寺町811 http://oishiocha.com

日曜日、祭日は定休日になっておりますが 4、5 月中はお電話のご注文は毎日受け付けいたします。  
 水、木は配達のため店を空けることがありますので、ご来店の時はお電話でご確認ください。

※天候によりお渡し予定日が前後することがございますので、ご了承ください。 ※価格は税込み価格です。

# 今年も新茶の季節がやってきました

# お茶新聞

2017年  
37号 新茶号

発行元  
亀山市辺法寺町  
811  
市川大楽園製茶  
  
電話  
0595-85-0321  
FAX  
0595-85-3005

## 新茶だより

今年もこの季節がやってきました。新茶は三月にべつと冷えたこともあり時期は遅めになりそうです。四月も雨の日が多く、いまでもダウンジャケットが手放せないくらい寒かったです。気温が高すぎると味が伴わないことが多いので、私としては少々遅くなるのは「よし」とします。新茶を心待ちにして頂いているお客様には少し待っていただくことになりそうです。今年はお茶が早い」と茶業界で言われるように、今後の気候によって追いつくこともあるようです。



4月10日の新芽の様子

## 試飲販売会のこと

市川大楽園のお茶が置いてある農産物直売所で土曜日、日曜日を中心に試飲販売を続けています。告知のポスターが貼ってあるとそれを目指して来て下さる方や、来る時は教えてほしいと言っていただけのお客様もいらつやいます。ありがたいなあ、私もだんだん対面に慣れてきて、おしくお茶を入れるために手早く温度計でお湯の温度を計っています。特に煎茶の場合には70℃のお湯で一分ぐらい待つ笑。

今はお客様と接することができ、この仕事が一番楽しめです。新茶の時期になると製造が忙しくて試飲販売会はできませんが、早く良いお茶を造って直接お届けしたいなあと思っています。おいしいよと言ってもらえたら嬉しいとお茶農家冥利に尽きます。



似ていると評判の告知ポスター

## 手もみ茶道場のこと

今年一月、十一日には保存会の仲間を集め、二十五日には三重大学の学生に来てもらって手もみ茶道場を開催しました。昨年の四月二十三日に摘んで蒸して冷凍した新芽を使い、自分のお茶ができました。自分のお茶を教えるのは感慨深かったです。さすが若い人、すぐ手さばきを覚えていました。教授が今日初めてやったはずなのに、もう学生に手もみ茶のやり方を教えていたのには苦笑してしまいました。三重県の保存会の研修会を含めると一月は三回も練習ができました。今まで年間に数回程度しか練習ができませんでした。新しいホイコことだなと思えました。新しいホイコ手もみ茶をする台が加わり、ますます人が集まるようになりました。



三重大大学の学生たちが道場に集まった

## 茶畑だより

三月。畑仕事が目一杯忙しい時期でした。肥料おきにお茶の苗の植え付け、防霜ファンの点検や修理もあり、茶農家にとってはお茶の収穫時に次ぐ忙しさです。今年も大学生の息子や堆肥おきを手伝ってもらっている母と叔母の手を借りてようやく乗り切りました。今年の三月は日が暮れるまで仕事していると息が白くなるほど寒かったです。



お茶の苗を植えた畑 (べにふうき)

## お気楽嫁よめ日記

みなさんーお元気ですか。またまた新茶の季節がやってきましたよ。今年もご来店、お電話心よりお待ちしております。みなさまにお会いできるのを楽しみにしています。

